

しまもとの お店から 博多だより



すぐれた軍師であり、民力を活かした藩主でもあった。
「黒田官兵衛」という生き方。

豊臣秀吉の軍師として
仕えた後、福岡藩主へ。

2014年のNHK大河ドラマが「軍師官兵衛」に決定したことによって、福岡藩の初代領主・黒田官兵衛という人物の生き方にスポットが当たっています。そこには現代人にとって学びべきこと、博多で商いに携わる(株)島本食品にとっても見習うべきことがあったのです。

官兵衛は1546年に播磨国(姫路市)で誕生しました。22歳にして結婚と同時に家督を継承。織田信長の実力を早々に見抜き、羽柴秀吉とは弟と呼ばれるほどの信頼関係を築いたのです。

後に、秀吉の軍師となりました。本能寺の変の際には、備中国で戦にあった秀吉に毛利家との講和を取りまとめさせ、京に向けて全軍を取って返す「中国大返し」を実現し、秀吉の天下取りを

商人町としての
博多の基礎をつくった。

軍師として優れた能力を発揮した黒田官兵衛は、和歌を愛した文化人、敬虔なキリシタン大名、側室をもたず一人の妻を愛した誠実な男、名を馳せた家臣団を取りまとめた名君など、多様な顔をもつ人物でもありました。その中でも、福岡藩を治めた手腕には目を見張るものがあります。

それは、「町民パワーを活用」したことです。如水と長政が博多に入った時は、海外交易で富を得た商人たちが活躍しており、そういった商人から適度な税を取り立てて圧迫するよりも、彼らに自由に商いをさせ、その利益を税として取り込む方針をとりました。豪商たちのエネルギーを藩の運営に活かしたので。また、「松囃子(現在の博多どんたく)」の復興を命じたのもこの頃で、町人活力を沸き上げさせました。さらに、業務に勤勉で、節約を重んじ、武勇を尊ぶ「勤儉尚武」の精神にも学ぶものがあります。

商人の街の礎を築いた黒田イズム。(株)島本食品代表取締役の波多江正剛は「商売が盛んな博多では、今でも黒田イズムが商人の魂のなかに組み込まれているのではないだろうか」と思っています。今後もこの精神を教えるに精進し、お客さまにお返しをしていきたいと思っています。



黒田官兵衛の肖像画。黒田家の菩提寺である崇福寺に伝来するもの。



母里太兵衛像(光雲神社境内)
黒田官兵衛に仕えた勇猛な武将「黒田二十四騎」のうちの1人で、その手柄は黒田節にうたわれている。



光雲神社
中央区西公園13-1
西鉄バス「西公園」から徒歩5分
福岡藩の藩祖・黒田官兵衛と初代藩主・黒田長政の親子を祀る神社。福岡市街地が一望できる西公園の山頂にある。



崇福寺内にある、博多の地を治め発展させた黒田家の墓前で、手を合わせる当社代表取締役の波多江正剛。



崇福寺
博多区千代4-7-79
地下鉄「千代橋南口駅」から徒歩5分
1600年に黒田長政が太宰府横島から移転。黒田家の菩提寺となった。山門は旧福岡城の表御門を移築したもの。



福岡藩主黒田家墓所(崇福寺内)
藩祖・黒田官兵衛、初代・長政、四代・綱政など歴代藩主とその一族を祀っている。現在は12基の石塚がある。



恵光院
東区馬出5-36-35
地下鉄「箱崎宮前駅」から徒歩5分
二代藩主・黒田忠之の開基により1624~1644年に建立。千利休が豊臣秀吉を招いて茶会を開いた地蔵堂がある。



東長寺
博多区御供所町2-4
地下鉄「箱崎駅」から徒歩1分
二代藩主・黒田忠之によって現在地に移転された黒田家の菩提寺。忠之、三代・光之、八代・治高の墓がある。



安国寺
中央区天神3-14
地下鉄「天神駅」から徒歩5分
1600年に豊前から筑前の国主となった黒田長政が、豊前の安国寺を移したものを、曹洞宗の寺院である。

めぐると、
福岡の原点が見えてきます。
黒田官兵衛とその一族ゆかりの地



黒田如水公墓碑

黒田家めぐりの際にお気軽にお立ち寄りください。
周辺のしまもとのお店



A 博多駅前店
福岡市博多区御供所町2-63あなぶき博多ビル1F
TEL 092-291-2771 ■営業時間9:00~19:00
日・祝祭日も休まずに営業致しております。

B 天神店
福岡市中央区天神2-7-23(新天神北通り西入口)
TEL 092-741-8181 ■営業時間10:00~19:00
日・祝祭日も休まずに営業致しております。

C 博多阪急店
福岡市博多区博多駅中央街1-1地階
営業時間10:00~21:00
年中無休で営業致しております。